

西連合町内会だより

令和7年度西連合町内会定期総会開催

令和7年度 西連合町内会 定期総会



令和7年5月12日（月）11時より、札幌プリンスホテル国際館パミール「日高」において、令和7年度中央区西連合町内会総会を開催いたしました。司会は6年度総務部長である竹腰会長が務め、開会にあたっては6年度総務副部長である田中会長の呼びかけにより出席者全員で市民憲章を唱和しました。続いて西連合町内会加藤会長より、「住んでよかったと思える地域づくりを目指して取り組んでいく」との挨拶があり、議長を選出して議事に入りました。総務部、福祉部、青少年部、衛生部、防犯防火部、交通部、女性部、統計部の各事業部長による6年度事業報告および中野会計部長による決算報告のあとは、7年度の事業計画案および予算案の審議が行われ、いずれも承認されました。さらに、役員改選案と役員の任期等に関する会則改正案も原案どおり可決されました。今年度も、地域の絆を深める多彩な活動を進めてまいります。

本年度主な活動予定年間事業

4月	春の交通安全街頭啓発、新入学児童特別啓発
5月	定期総会・懇親会、福まちサロン〔演歌体操〕
6月	にれの会日帰り研修、自衛隊協力会総会
7月	女性部バザー、福まち〔パークゴルフ会〕 夏季夜間パトロール、夏の交通安全街頭啓発
8月	クリーンミーティング、福まちサロン〔栄養教室〕、 夏休み子ども体験交流会
9月	啓発清掃、女性部研修会、敬老祝賀会、 秋の交通安全街頭啓発、福まち〔ボッチャ大会〕
10月	赤い羽根募金、国勢調査、にれの会日帰り研修
11月	冬の交通安全街頭啓発、福まちサロン〔音楽会〕
12月	福まちサロン〔フラワー〕、冬季夜間パトロール
1月	新年交礼会、新春子どもお楽しみ大会
3月	福まちサロン〔茶話会〕
通年	三役会、役員合同会、子育てサロン、萌黄会、 防犯パトロール、各種防災研修・訓練参加等

新年度懇親会

総会に引き続き、12時より国際館パミール「美瑛」にて「令和7年度西連合町内会懇親会」を開催しました。各町内会から役員のほか、来賓や関係者含め92名が一堂に会しました。加藤西連町会長が「町内の方々が顔を合わせて親睦を図ることで地域の繋がりが深まり、防災や見守りなどにおいて大きな力になる」と挨拶を行いました。続いて久道中央区長が来賓代表としてご挨拶、庄中市民部長の乾杯発声後、和食弁当を囲みながら和やかな歓談のひとときを過ごしました。余興は恒例の福引を行い、会場は大いに盛り上がりました。最後は参加者全員で「ふるさと」を合唱、原参与の納杯で会を締めくくり、今年度の活動開始の英気を養いました。



西連町女性部総会

4/3 (木)



いつも明るく華やかな女性部のみなさん。

西地区青少年育成委員会総会

5/14 (水)



今年も子ども達のためにがんばります。
笑顔のため

西地区福祉のまち推進センター総会

西地区各団体の総会が開かれました

4/18 (金)

楽しく健康増進と見守りを進めていきます。



にれの会総会

4/23 (水)



各部会活動に日帰り研修会と今年も活発に活動。

活動報告

春の交通安全街頭啓発

西地区と大通地区合同で春の交通安全街頭啓発活動を行いました。結団式の後、町内会や交通安全母の会などから参加者約70名が旗を持ってずらりと石山通沿いに並び、通行中のドライバーに、シートベルトの着用やスピードの抑制など交通安全を呼びかけました。



4月4日

4月8日



二条小新入学児童交通安全特別啓発

二条小学校の入学式に合わせて、西地区交通安全母の会のみなさんが小学校前に集合。新入学児童と保護者に交通安全を呼びかけ、啓発品を配布しました。大切な子どもたちが交通事故にあわないようにとの願いを込めて、母の会のみなさんが一つ一つ手作りしたティッシュケースとランチマットを受け取り、児童たちは、はにかみながらもうれしそうな笑顔でした。

福まちサロン～演歌体操～

会館集会室にて、福祉のまち推進センター主催の「演歌体操」が行われ、29名が参加しました。演歌体操の第一人者として知られる大高一郎さんを講師に迎え、「きよしのズンドコ節」に合わせて体を動かしました。振付を覚えながら動くことで脳の活性化にもつながるというオリジナル体操で、サビの部分では全員が「きよし～」と声をそろえてキメポーズ。普段は女性の参加が多い中、この日は男性の姿も多く見られ、会場の雰囲気も一層にぎやかに。テレビにもひっぱりだこの大人気講師による軽妙なトークに、終始大きな笑い声が響きました。終了後は「楽しかった～」「またやりたいね！」と笑顔で語り合う様子が見られました。

5月30日



6月3日

にれの会春の日帰り研修

和老会（通称「にれの会」）による「春の日帰り研修会」が実施されました。春と秋に開かれる日帰り研修会は、毎回楽しみにしている人も多い大人気企画です。今回のテーマは「初夏の小樽をゆったり満喫！牡丹・芍薬まつり&酒蔵見学&海鮮市場」。当日集まった約50名の参加者は、加藤連町会長のお見送りを受けながら元気に貸切バスにて2条みゆき公園から出発。バスの中では企画担当の青山会長による丁寧な解説を聞き知識を深めているうちにあっという間に小樽貴賓館（旧青山別邸）に到着。満開の牡丹と芍薬に心癒された後、館内5階にて名物「にしんお重」の昼食を楽しみました。その後は田中酒造亀甲蔵を見学し、日本酒の試飲を体験。締めくくりに新・南樽市場で新鮮な海の幸などの買い物を満喫し、笑顔とおみやげを手に帰札しました。



「ハレ」の防災と「ケ」の防災

人生の営みの中には「ハレ（＝非日常）」と、日々の生活である「ケ（＝日常）」があります。さて、このハレとケは表裏一体、ケの延長線上にハレは起こるし、ハレがあるからこそケがある、という関係性です。

地震や火事などの災害は突然訪れる「ハレ」の極致です。地震、台風、大雨、火災…。そういった災害に備えて普段から準備しておくことは非常に有効です。「ハレ」はお祭りや冠婚葬祭にも使う言葉です。日常のつながりである親戚やご近所、職場や学校の交友関係が発展して、おめでたいこともつらいことも一緒に乗り越えていける間柄が生まれます。「ケ」の日があるからこそ、「ハレ」を受け入れ、協力して乗り越えていくんですね。

防災の専門家である加藤孝明（東京大学教授、防災工学）先生によると、3.11の震災後、行政も、市民もある種の「防災ヒステリー」になっている、と言います。「日本一美しい漁村」と呼ばれた宮城県の雄勝町が、現在はコンクリートの高い防波堤に囲まれ、その影もないことや、東北三県では「安全なまちづくり」のために集団移転を推進し、バス利用などに支障があるなど「ハレ＝非日常」のために「ケ＝日常」が犠牲になっている例があると言います。

町内会の活動は、避難訓練だけが防災活動ではありません。普段からバザーやお楽しみ会で顔を合わせ、共に「ケ」を過ごす関係性を築き、たまには大きな行事で協力して乗り越えていくことで、どんな「ハレ」が来ても受け入れて復興できる、そんな強さを育む活動でもあるのです。

西連合町内会だより 第31号（2025/7月発行）

■発行／中央区西連合町内会 ■協力／大通・西まちづくりセンター

〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目291-98

<https://www.city.sapporo.jp/chuo/odorinishi>

■編集／Dala Space (www.dalaspace.org)

●電話／011-280-7033

●FAX／011-280-7051

※中央区西連合町内会に関するお問い合わせは大通・西まちづくりセンターまで